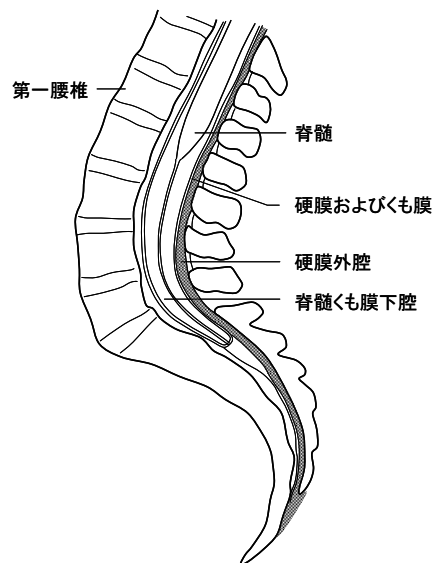


硬膜外ブロック

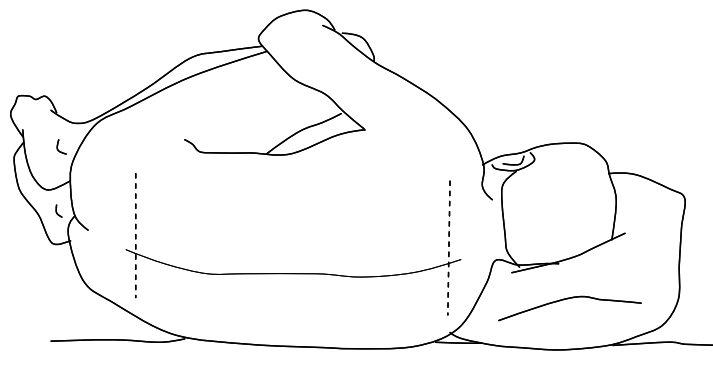
脊髄を包んでいる髄膜の外側に硬膜外腔という狭いスペースがあります。硬膜外ブロックではここに局所麻酔薬を注入します（図）。局所麻酔薬によってブロックされた領域では交感神経の緊張が取り除かれ、痛みの信号が伝わらなくなります。



図： 硬膜外腔の部位
(腰部の場合です)

診察台の上で横向きの姿勢（仙骨硬膜外ブロックではうつぶせ）をとってもらいます。

注射部位を消毒し、細い針で注射部位に局所麻酔を施し硬膜外腔までブロック針を進めて薬液（局所麻酔薬など）を注入します。



図： 硬膜外ブロックを受けるときの姿勢

痛みが軽くなる、温かく感じる、軽くしびれるなどの感覚が出てきます。